



あつぎ・森の里九条の会

2024年4月

～今を新たな戦前にさせない～

結成：2009年

代表/平川高人 電話：090-3338-7027 事務局/046-248-0632

例会

5月5日（日）
10：00～12：30
森の里公民館3F会議室

懇談会・ドキュメンタリー映画

9条改憲、原発、ガザ攻撃、ウクライナ侵略戦争、物価高、地域の問題などについて話し合い、共感し合いませんか。

「9条改憲、原発、ガザ攻撃、ウクライナ侵略戦争、物価高、地域の問題などについて話し合いませんか？」

3月3日（日）

2024年2月24日放送のTBS報道特集、「侵攻2年ウクライナの“疲弊”を見ました。
ロシアから領土を奪い返せず、兵器も不足。厭戦気分が広がるウクライナの未来は？」
（番組の解説から）

▼アメリカ経済をユダヤ人が握っているの、アメリカはイスラエルを支持している。
▼世界的にユダヤ人は経済的に力を持っている。
▼ユダヤ人はパレスチナ人を全て追放して、パレスチナを全て自分のものにしたのだから。 Netanyahu首相はハマスを殲滅すると言っている。
▼パレスチナ人は出稼ぎも許されない。
▼常任理事国が互いに拒否権を行使している。国連は無力だ。国連の組織を変えていかなければならない。
▼“死の商人”は戦争大歓迎だ。
▼自衛隊がこのまま大きくなっていったらどうなるのだから。
▼憲法第9条はどうやれば世界に広められるのだから。
▼スタンディングでチラシを配

っていたが、今回は少し変わった。「頑張ってください。」と言って受け取ってくれた。
▼プーチンは反対派を徹底弾圧している。かつての日本と同じだ。

▼自分は最初、ウクライナを支持していたがその後変化した。ゼレンスキー大統領がアメリカから提供されたクラスター爆弾の使用を許可したからだ。そのことに対しては非常に複雑だ。
▼戦争が長期化すると何でもありということになるのか。国際世論の監視が必要だ。
▼イラクでアメリカが劣化ウラン爆弾を残してきた。子どもたちがそれに触れて小児ガンが増えている。
▼ロシアは国土は広いが寒いから使える土地は狭い。
▼しかし地下資源はあるから、2、3年で経済制裁がきいてくるだろうと言われていたが、持っている。
▼ロシアはウクライナの子どもたちを連れ去って洗脳している。
▼ホンコンの民主活動家周庭さんもナワリヌイもそうだが、国家は本当に国民を守ってくれるのか。
▼権力を握っている者は、人命のことを分かっている。
▼コロナブスが西インド諸島に到達後、ヨーロッパから来た多くのキリスト教徒が中南米の金

銀財宝を奪った。平和に暮らしていた人たちを殺したり奴隷にしたりした。
▼政倫審は茶番だ。どうして最初から証人喚問しなかったのか。

▼ロシアはウクライナ侵略戦争で停戦しても、また周辺に領土を拡大していくだろう。かつてのナチスドイツと同じだ。
▼中国も海洋進出を続けている。今は新しい帝国主義の時代だ。
▼バイデン大統領がロシアのウクライナ侵略戦争直前に、アメリカは軍事介入しないと明言した。それまでのアメリカは、軍事面で曖昧作戦を取ってきた。大失言だった。これがその後のプーチンの大規模攻撃継続につながった。
▼フィンランドに続いてスエーデンのNATO加盟が決まった。日本や韓国は、安全保障面でNATOと歩調を合わせている。ロシア・中国・北朝鮮と対立し、新冷戦となっている。第二次世界大戦前と同じだ。
▼ナワリヌイ氏は殺害されたと言われているが、ロシアのクリミア併合をナワリヌイ氏が支持したこと、同氏殺害をウクライナ市民は冷めた目で見ている。そうだ。
▼ウクライナ侵略戦争を多くの報道機関が「侵略」と表現している。「侵略」と書いているの

は読売新聞だけだ。政府自民党はキックバックを還付金と言い換えたり、敵地攻撃能力を反撃能力と言い換えている。本質を捉えて侵略と呼びたい。

スタンディングと署名活動

3月17日(日)

「(戦争は)怖いね。」戦争を身近なものとして感じてきています。受け取りを断る人もいましたが、93部が50分ほどでなくなりました。

読者の広場



なぜ戦争に

反対しなかったの？

歌手の加藤登紀子さんのヒット曲「100万本のバラ」。旧ソ連では、ロックシンガー、アー・プガチョワさんが歌い、大ヒットさせました。原曲は、旧ソ連構成国の一つ、ラトビアで1981年に作られた子守唄でした。「神様は娘に命を授けてくださいました、何より大事な「幸せ」をお忘れになりました。どうしてすべての子供たちに幸せを運んでくれることを、お忘れになったのですか？」大國ソ連に翻弄された、小國ラトビアの苦難を暗示した歌です。

ロシアがウクライナ侵略戦争を開始して2年あまり。ロシアで戦争初期に見られた反対運動は、徹底的に弾圧されました。政府が流す大量の虚偽情報により、ほとんどのロシア市民が戦争は自衛のためと信じ、プーチンを支持しています。女性は献身的な姿勢こそが理想とされ、ボランティアで兵士の装備品作りに携わることも多いそうです。「聖戦」の勝利を目指し、国民が積極的に戦争に協力した戦前の日本と似ています。そして学校では、ウクライナ侵略戦争を正当化した歴史教科書を使用し、愛国心を育む教育を行っています。軍事教練もあり、軍事教練を行い、教育勅語を暗記した戦前の日本とそっくりです。

パレスチナ自治区ガザでも、イスラエル軍が病院や学校、難民キャンプなどの空爆を続けています。輸送機から投下された支援物資に集まる人々や、シリアのイラン大使館まで空爆しました。アメリカのバイデン大統領は、国内で大きな影響力を持つユダヤ人の反発を恐れています。すぐにもイスラエルのネタニヤフ首相支持をやめるべきです。

岸田首相もロシア・イスラエル・アメリカに対して、はっきり戦争反対を言うべきです。し

かし、この人にはとても無理でしょう。政治哲学がなく、首相を続けることを何よりも大切にしていますから。

そのような岸田政権下の日本では、戦争の準備が急速に進められています。最近では政府が、有事の際に自衛隊や海上保安庁の使用を想定する「特定利用空港・港湾」に、全国の計16か所の空港と港を指定しました。また英仏と共同開発を進めている次期戦闘機の、第三国への輸出を容認することも決定しました。自衛隊がアメリカ軍と共に出撃する日まであとわずかでしょう。

安倍・菅・岸田の自公政権は、憲法を無視し民主主義を破壊しました。しかし、それを許したのは国民です。自由・権利保持のための、不断の努力が足りません。今のままでは、将来子や孫たちから、「なぜ戦争に反対しなかったの？」と問われたとき、答えようがありません。

しかし、今からでも、多くの市民が本気で戦争反対の声を上げれば、新たな戦前化は避けられると思います。政府の方針に反対するとすぐ逮捕される、ロシアのような状況ではないです。

プーチンもネタニヤフも、自分の地位を守るために戦争を正当化し、攻撃の手を緩めようと

しません。ガザでもウクライナでも、子どもたちが今日も空爆におびえたり、飢えに苦しんだりしています。支援物資を送ったり、募金したりすることができないものかと考えてしまいます。

K I

※事務局では皆さんからの一言を募集しています。身近なエピソードやつぶやき、森の里のトピックスなど、何でもよいのでお寄せ下さい。先にお配りした葉書もご利用ください。



森の里

スタンディングと署名活動のお知らせ

日時: 4月21日(日) 10:30~11:30

場所: スーパー三和前

★どなたでもお気軽に参加大歓迎です。

★手作りの表示板の用意あります。

例)「キシダ政治を許さない！」

「9条壊すな！」

「NO WAR！」

「大軍拡・大増税反対！」

